

1. 主な対象者

BIM による設計案件の経験数が 0~1 物件の初級者 (14 名)

2. 演習目的

初級者の技能習得支援を目的とする。

BIM による構造図作成の一連の流れを学び、操作機能に慣れる。

3. 使用 BIM

Revit (原則、バージョン 2019 とする)、Archicad (バージョン 25)

4. プロジェクトテンプレート

Revit→ RUG、 Archicad→ 25 テンプレート .tpl

5. 使用一貫プロ

SS7 (Stb ファイルに変換したものを配布)

6. 演習課題

(1) RC 造演習

学会 R C 規準付 1 設計例の建物 (RC14 階建、ラーメン構造) を BIM により構造図作成を行う。

(2) S 造演習

JSCA 編「S 建築構造の設計」3 階建事務所ビルの設計例 を BIM により構造図作成を行う。

各演習の成果物

- ・ 伏図・・・杭伏、基礎伏、基準階伏
- ・ 軸図・・・代表2面
- ・ 柱、梁リスト (Revit では REXJ 使用)

7. 演習内容

約 1 か月の期間内に BIM を用いて上記の構造図を作成する。図面表現の仕様は限定しない。各自の実務に近い形で進める。

BIM 作図のなかで生じた疑問点等については上級者が回答、解説を行い、初級者のフォローを行う。質疑回答の書き込みは、現状の記録シートを利用する。

以上のような演習過程のなかで、メンバー全員の BIM 習熟度を向上させる。

## 8. 目標設定

- ① 電算データから ST-Bridg ファイル→BIM データを作成できるようになる。
- ② マッピングテーブルを編集できるようになる。
- ③ 伏、軸、リスト作成のなかで、
  - ・各種ツール（コマンド）の使い方を習得する。
  - ・最低限必要な各種プロパティ、パラメータについて理解する。
  - ・従来の CAD で作成した構造図との表現の違いを理解する。
- ④ 途中でつまづいた項目は WG 全体で共有、問題を解決する。
- ⑤ 達成できた項目はその結果に至った過程を再度検証し、結果の再現性を高める。
- ⑥ 作業項目を分けて、どの程度時間がかかるかを記録しておくことを心がける。

## 9. スケジュール

### (1) RC 造演習（学会 RC 規準付1 設計例）

- ・2021年 12月8日（水）： 課題内容の説明、SS7 データ、Stb ファイル配布
- ・2022年 1月 12日（水）： 報告会、疑問点などに対する回答解説

### (2) S 造演習（JSCA 編「S 建築構造の設計」3 階建事務所ビルの設計例）

- ・2022年 1月 12日（水）： 課題内容の説明、SS7 データ、Stb ファイル配布
- ・2022年 2月 9日（水）： 報告会、疑問点などに対する回答解説